



さわやかな風に誘われて、園庭には子ども達の元気一杯遊ぶ姿が見られます。新しい環境にも慣れてきて、身の回りの事も少しずつ自分でできるようになってきました。子ども達の頑張りを見守り、色んな事に挑戦しながら、笑顔溢れる楽しい毎日を過ごせるようにしていきたいと思えます。



2歳児の葛藤



毎日の生活の中で様々な事を経験し、友達や保育士との関わりも深まり、何でも自分でやろうと頑張っている子ども達。運動面でも色々な動きに挑戦し、ますます動きが活発になってきました。2歳児は『反抗期』『魔の2歳児』などと言われることもあり、何でも「自分で」や、「いやいや」が多く見られるようになってきたり、反対に甘えて何もやらなくなってしまったりする事もあると思います。しかし、決して反抗しているのではなく、まだ言葉だけで思いを伝えるのは難しいので、自分の思いを伝えようとする精一杯の表現なのです。子ども達自身にも思いがあり、大人が考えている事とは違いがある事を一生懸命伝えようとする言葉、行動であり、自己主張をするようになってきた成長の証です。子どもの「いやいや」を受け止め、些細な事でも沢山褒めてあげましょう。そして、子どもの思いに共感し、「こうしたかったんだね」と子どもの思いを大人が言葉にしてあげましょう。大人が言葉で代弁してあげる事により、自分の思いを受け止めてもらえたと子ども達も安心して自分の思いを伝えてくれるようになります。「三つ子の魂百まで」と言われるように、この時期は子ども達にとってとても大切な時期です。一人ひとり体力や体格、情緒面などすべてにおいて個人差がありますので、その子のペースに合わせてゆっくり関わっていくようにしていきたいと思えます。

ある日のこと・・・



皆で戸外で元気に遊ぼうと、頑張って自分達で靴を履き、それぞれが好きな場所へ勢いよく走って行きました。すると、ひとりの男の子がこいのぼりの下へ行きました。手を伸ばして何かをやっていたので、近くでそっと様子を見てみると「こいのぼりさん、はいどうぞ。食べて」と砂を食べさせてあげようとしていました。その子にとっては砂ではなく、きっととてもおいしい食べ物だったのでしょね。

散歩に出掛ける際に、子ども達にどこに散歩に行きたいかを尋ねると、「海」と元気に答えてくれたので海に散歩に行く事にしました。春の草花を見つけたり、歌ったりしながら歩き、もう少しで海に到着しそうな所まで来ると、前方を小さなヘビが横切っていました。あっという間にいなくなりましたが、その日は海に行くのは止めて引き返しました。後日、再び海に散歩に行く話をすると、皆はヘビが気になっている様子。「ヘビがいたらどうしようね」と聞いてみると「こわい」という子が多い中、「捕まえて袋に入れちゃう」と得意気に言っている子がいました。いざ散歩に出発。その日はヘビに会う事はなく、無事に海に到着。皆で砂浜を走って競争したり、貝殻拾いなどをして楽しんできました。

まだまだ子ども達のかわいいエピソードが沢山あります。毎日の連絡ノートや、保護者の方々と沢山お話をさせて頂きながら、子ども達の保育園での様子を伝えていきたいと思えます。また、気になる事などありましたら、いつでもノートに書いて頂いたり、担任に声を掛けて下さい。子ども達のエピソードを今後もクラスだよりの中で紹介していきますので、ぜひ楽しみにしててください。

自分の経験したことや考えなどを言葉で伝える事ができるよう、ご家庭での様子を聞いたり、友達の前で発表したりすることを少しずつ行っています。お忙しいとは思いますが、ご家庭でも園での様子をお子さんに聞く等、コミュニケーションを取って頂くようお願い致します。